

受験番号	
------	--

問 1

生息環境改変は山域のニホンオオカミ、淡水域のメダカ・ホタル、佐渡ほかのトキを、 経済的乱獲は河川のニホンカワウソ、離島のアホウドリなどを減少あるいは絶滅させ た。	40 80
---	----------

問 2

沿岸地域の生活基盤には、漁港・港湾及び魚市場・漁協などの経済基盤、沿岸特有の 地形・地質・気候・気象・水文・生物相の自然資源基盤といった地域的な独自基盤を 含む。同時に、他地域と共通の自治・生活組織等の社会基盤、漁業関連以外の経済基 盤、若さや技能や智恵を有する人的資源とエネルギー・情報・交通・物資基盤も地域 存続に必須である。	40 80 120 160
---	------------------------

問 3

放射性物質は大気・水・生物の動きを通じて海・山・里・川を循環・蓄積する。海洋 では図のように海水の動きに応じて拡散希釈もされるが、深海底など特定場所に凝集 沈殿もする。水棲生物を通じた生物濃縮は大気・水分摂取と食物連鎖により陸上と同 様に生じる。これら放射性物質の海陸における動きは、自然環境中の人間生活に大き な影響を与える。	40 80 120 160
--	------------------------

問 4

私が住む川崎市で想定される最大の自然災害は、首都圏直下型地震による災害です。 湾岸地域に居住のため、湾内が震源地だと、地盤崩壊・液状化と津波のほか、建築物 の崩壊や火災といった人的災害も心配です。現在、町内会で月 1 回の防災訓練や防災 地図作成と非常時食料備蓄を、非常時連帯のためにも日常の近所声かけ運動とともに 皆で実施中です。	40 80 120 160
--	------------------------